

# 港湾空港関係の評価項目調書

港湾改修事業の再評価項目調書

事業名	宇部港 本港地区 航路・泊地整備事業		事業主体	中国地方整備局								
所在地	山口県宇部市											
事業概要	<p>宇部港は、港内に芝中西1号（水深-13m）岸壁、芝中西2号（水深-12m）岸壁という大型係留施設を有しているが、現時点において水深-9mしか確保されていない状況にある。</p> <p>このため、既に完成している大型係留施設での貨物取り扱いに際し、対象船型となる30,000及び40,000DWT級の大型船舶が入港できず、荷主企業は非効率な輸送を余儀なくされている。このような状況は、輸送コストの負担増となり、荷主企業の経営を圧迫し、競争力を低下させる要因となっている。</p> <p>また、本航路は宇部港の主航路であり、多目的国際ターミナルのために本プロジェクトを実施していく必要性がある。</p> <p>このため、当該プロジェクトを実施することにより、荷主企業はさらなる輸送船の大型化に伴う輸送効率化を図る。</p>											
事業採択年度	平成9年度											
総事業費	約185億円	既投資額	約70億円 (進捗率38%)									
再評価の必要性に関する視点	<p>①事業の必要性に関する視点</p> <p>ア) 事業をめぐる社会情勢等の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・背後立地企業の生産活動に伴う大型岸壁利用貨物の増加</li> <li>・背後荷主企業等の物流効率化の支援</li> </ul> <p>イ) 費用便益分析（平成18年度価値換算による） <span style="float:right">(残事業) 事業全体</span></p> <table border="1" data-bbox="363 1249 1425 1783"> <thead> <tr> <th data-bbox="363 1249 890 1294">本事業に要する費用（総費用）</th> <th data-bbox="895 1249 1425 1294">本事業による効果（総便益）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="363 1301 890 1377"> <b>■建設費</b>                      総事業費※1 (115.0)184.9億円                 </td> <td data-bbox="895 1301 1425 1377"> <b>■海上輸送削減便益(142.5)334.5億円③</b>  <b>■残存価値 (1.7) 1.7億円④</b> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="363 1422 890 1498">                     現在価値事業費※2 (85.5)170.0億円①                 </td> <td data-bbox="895 1422 1425 1498">                     総便益 (B)                      ③+④ = (144.2)336.2億円                 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="363 1505 890 1621"> <b>■管理運営費 (28.4)28.4億円②</b>                      総費用 (C)                      ①+② = (113.9)198.4億円                 </td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：既に登録されている当事業に必要な費用                  ※2：将来または過去の費用を、現在の価値に換算したもの</p> <p style="text-align:center">評価対象期間内 = 整備期間+50年</p> <p>費用対効果分析の結果                      前回評価時 B/C = ( - ) -                      今回評価時 B/C = ( 1.3 ) 1.7</p> <p style="text-align:center">「港湾整備事業の費用対効果分析マニュアル（平成16年6月）による」</p>				本事業に要する費用（総費用）	本事業による効果（総便益）	<b>■建設費</b> 総事業費※1 (115.0)184.9億円	<b>■海上輸送削減便益(142.5)334.5億円③</b> <b>■残存価値 (1.7) 1.7億円④</b>	現在価値事業費※2 (85.5)170.0億円①	総便益 (B) ③+④ = (144.2)336.2億円	<b>■管理運営費 (28.4)28.4億円②</b> 総費用 (C) ①+② = (113.9)198.4億円	
本事業に要する費用（総費用）	本事業による効果（総便益）											
<b>■建設費</b> 総事業費※1 (115.0)184.9億円	<b>■海上輸送削減便益(142.5)334.5億円③</b> <b>■残存価値 (1.7) 1.7億円④</b>											
現在価値事業費※2 (85.5)170.0億円①	総便益 (B) ③+④ = (144.2)336.2億円											
<b>■管理運営費 (28.4)28.4億円②</b> 総費用 (C) ①+② = (113.9)198.4億円												

事業名	宇部港 本港地区 航路・泊地整備事業	事業主体	中国地方整備局															
再評価の必要性に関する視点	<p>ウ) 貨幣換算しなかったが定性的に評価できる事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>船舶航行安全性の向上</li> <li>背後圏立地企業の物流効率化及び国際競争力の向上に伴う地域産業の安定・発展</li> <li>海上輸送の効率化に伴う排出ガスの減少 (CO<sub>2</sub> 9,369トン/年)</li> </ul> <p>エ) 事業の進捗状況</p> <p>1. 主な経緯</p> <table border="0" data-bbox="411 645 1077 840"> <tr> <td>平成 9年 4月</td> <td>泊地浚渫</td> <td>着工</td> </tr> <tr> <td>平成11年 4月</td> <td>航路浚渫</td> <td>着工</td> </tr> <tr> <td>平成20年代前半</td> <td>泊地 水深-12m</td> <td>完了予定</td> </tr> <tr> <td>平成20年代後半</td> <td>泊地 水深-13m</td> <td>完了予定</td> </tr> <tr> <td></td> <td>航路 水深-13m</td> <td>完了予定</td> </tr> </table> <p>2. 事業の進捗状況</p> <p>○工事の進捗状況 現在の工事の進捗状況は38%である。</p>			平成 9年 4月	泊地浚渫	着工	平成11年 4月	航路浚渫	着工	平成20年代前半	泊地 水深-12m	完了予定	平成20年代後半	泊地 水深-13m	完了予定		航路 水深-13m	完了予定
平成 9年 4月	泊地浚渫	着工																
平成11年 4月	航路浚渫	着工																
平成20年代前半	泊地 水深-12m	完了予定																
平成20年代後半	泊地 水深-13m	完了予定																
	航路 水深-13m	完了予定																
②事業進捗の見込み	<p>今後は予算の重点投資をするなど、早期供用を図って行く予定である。</p>																	
③コスト縮減や代替案の可能性	<p>建設機械の有効利用によるコストの縮減（港湾管理者発注の工事と工程調整を行うことにより、作業船等の運搬費用を縮減する）</p>																	
今後の対応方針	<p>事業継続 本事業は十分な投資効果及び進捗の目途が確認されるため、本事業を継続することとしたい。</p>																	

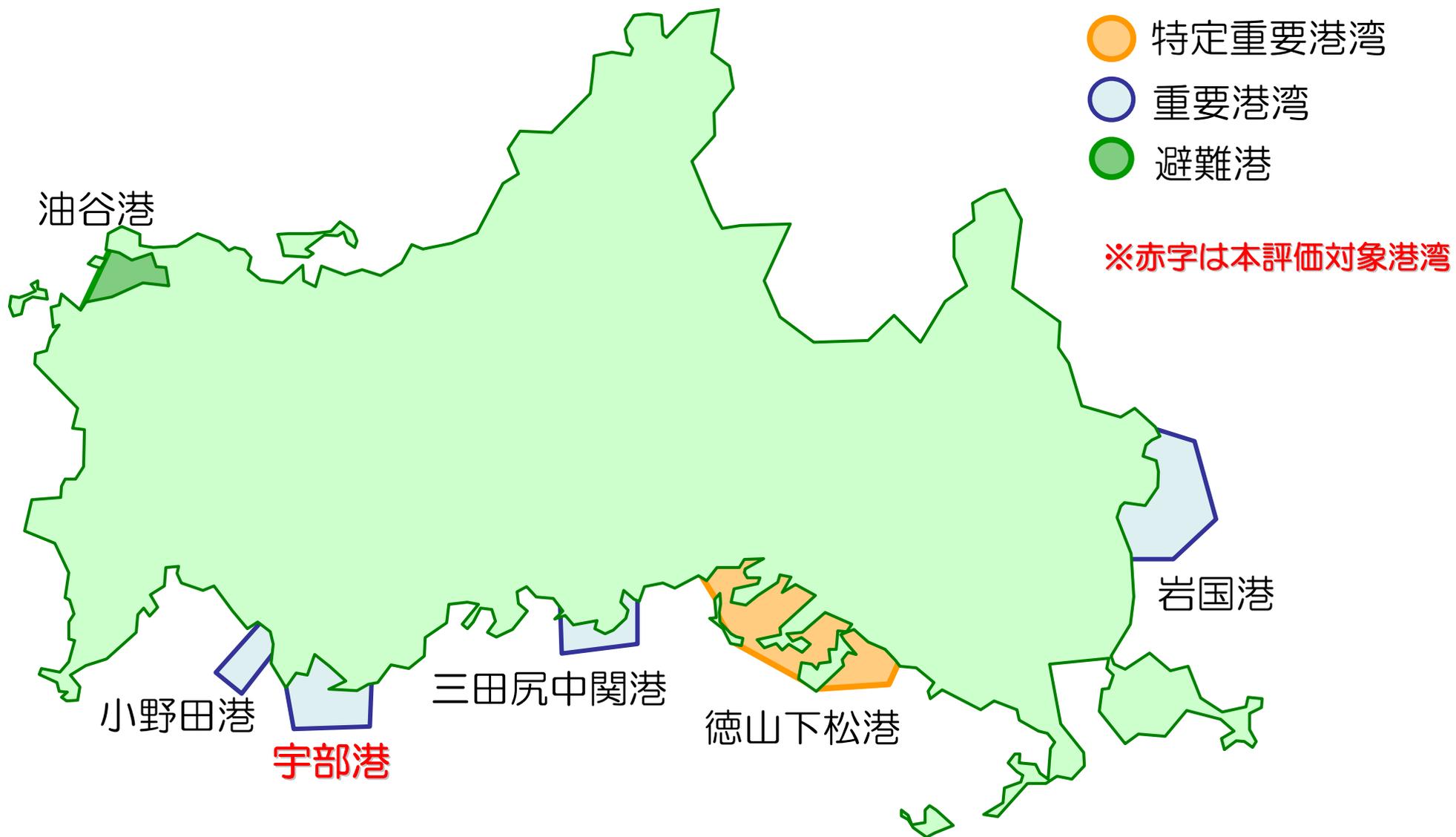
# 宇部港本港地区 航路・泊地整備事業再評価



平成18年11月

国土交通省 中国地方整備局

# 1.事業位置図

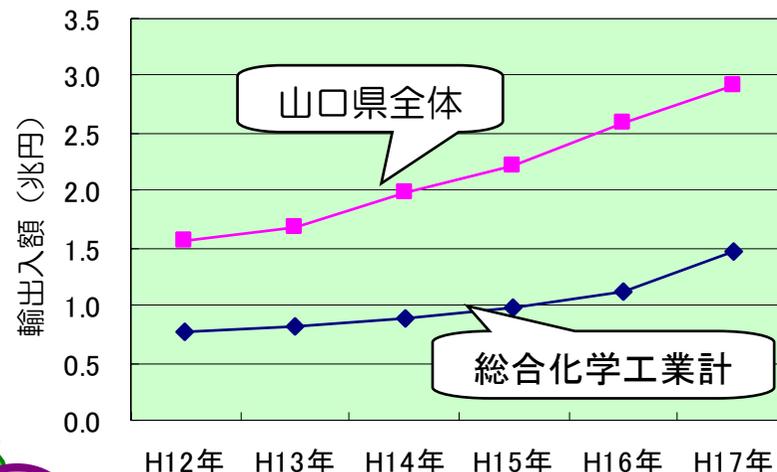


## 2. 地域の元気ー山口県の総合化学工業

### ●主要生産品目

県内総合化学メーカーの平成17年輸出入総額は、約1兆5千億円で山口県の輸出入額の50%を占めている

山口県の輸出入額の推移



資料：門司税関データより作成



#### 宇部港周辺

- 化学品・樹脂
- 建設資材
- メディカル品
- 機械
- エネルギー

#### 徳山下松港周辺

- 化学品・樹脂
- 建設資材
- 電子、装置
- メディカル品
- エネルギー

#### 岩国港周辺

- 化学品・樹脂
- 潤滑油
- エネルギー

### ●地域の歴史・特性を活かして個性化進む

石炭・アンモニア

ナイロン樹脂等

石油・塩

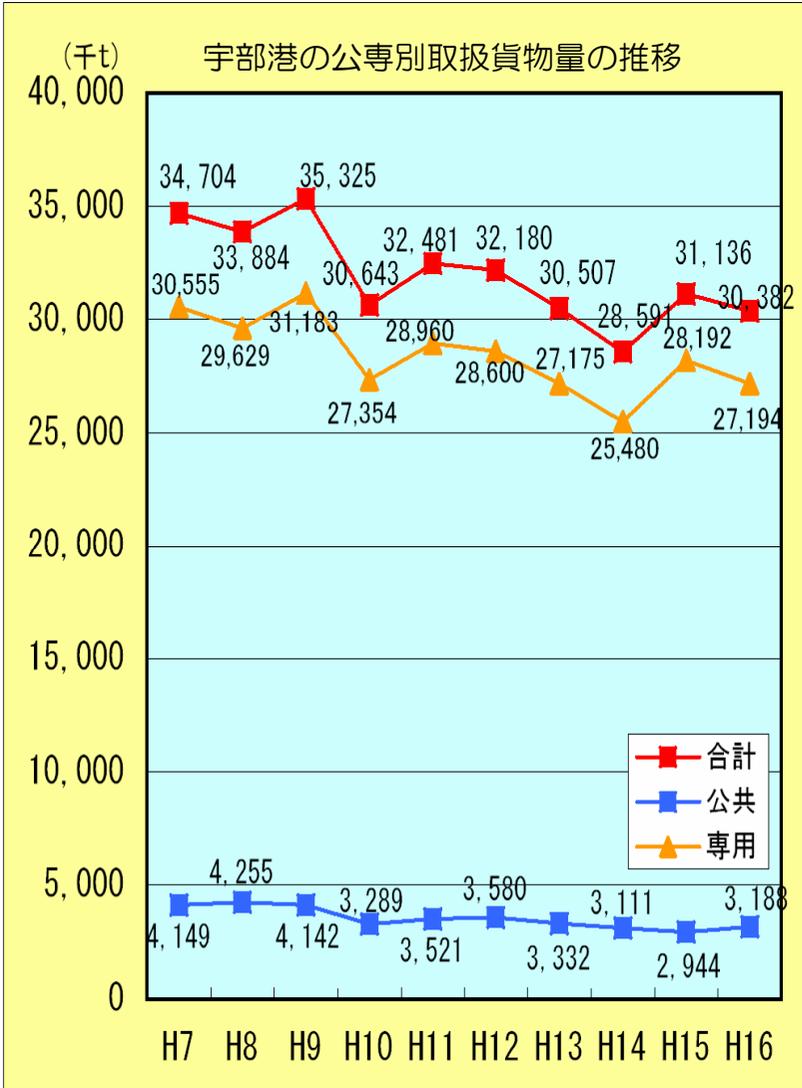
塩ビ樹脂、シリコン等

石油

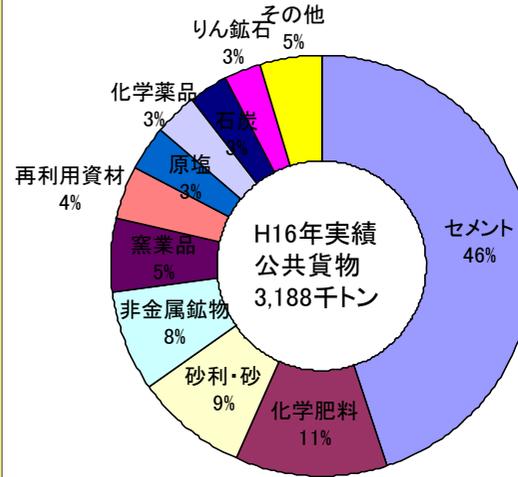
合繊、ペット樹脂等

# 3. 宇部港の利用状況

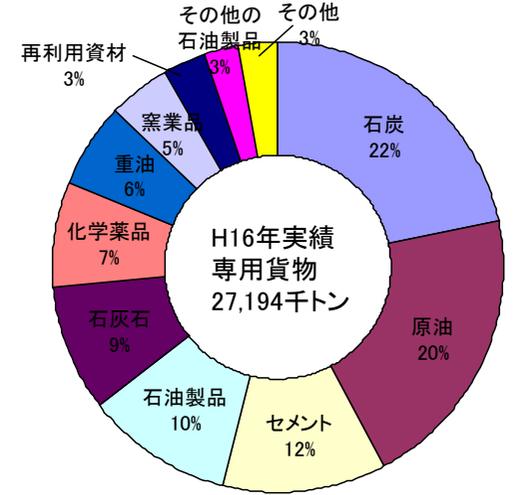
## ●宇部港の取扱貨物量



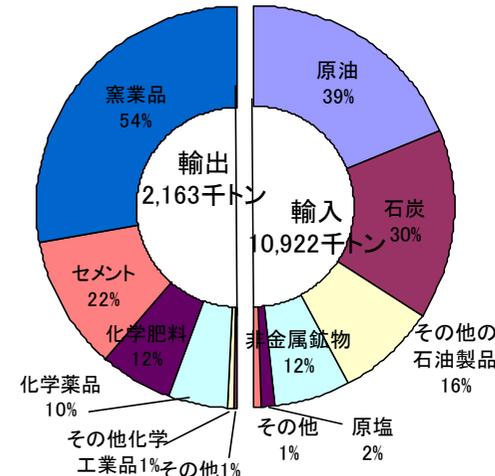
### 公共取扱貨物量



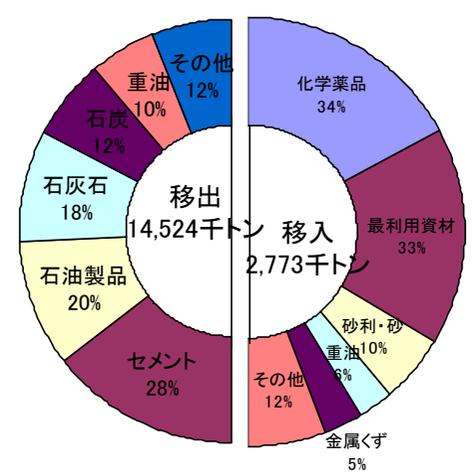
### 専用取扱貨物量



### 外国貿易取扱貨物量



### 内国貿易取扱貨物量



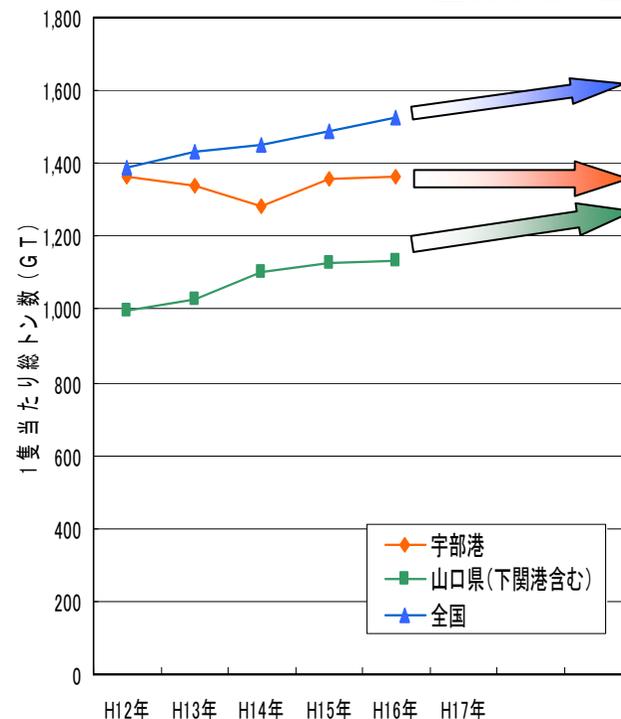
# 4.宇部港の課題

## ●航路・泊地能力不足

現在、供用中である岸壁(-12m)、岸壁(-13m)は、暫定水深(-9m)で供用開始  
→ 高い物流コストを強いられ、大型化している船舶への対応が困難



宇部港・山口県・全国の入港船舶の船型推移  
(重要港湾以上)

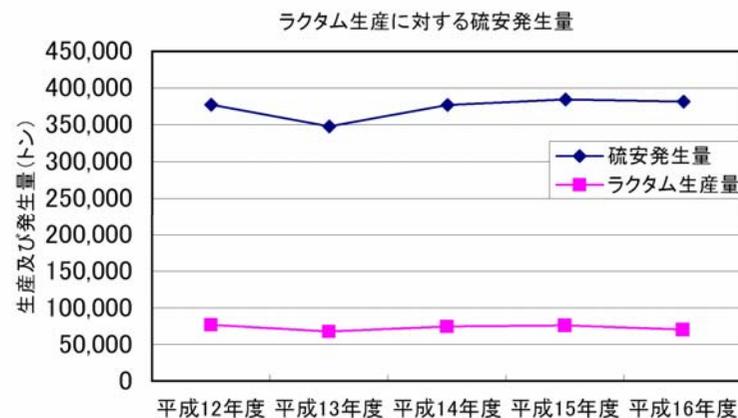
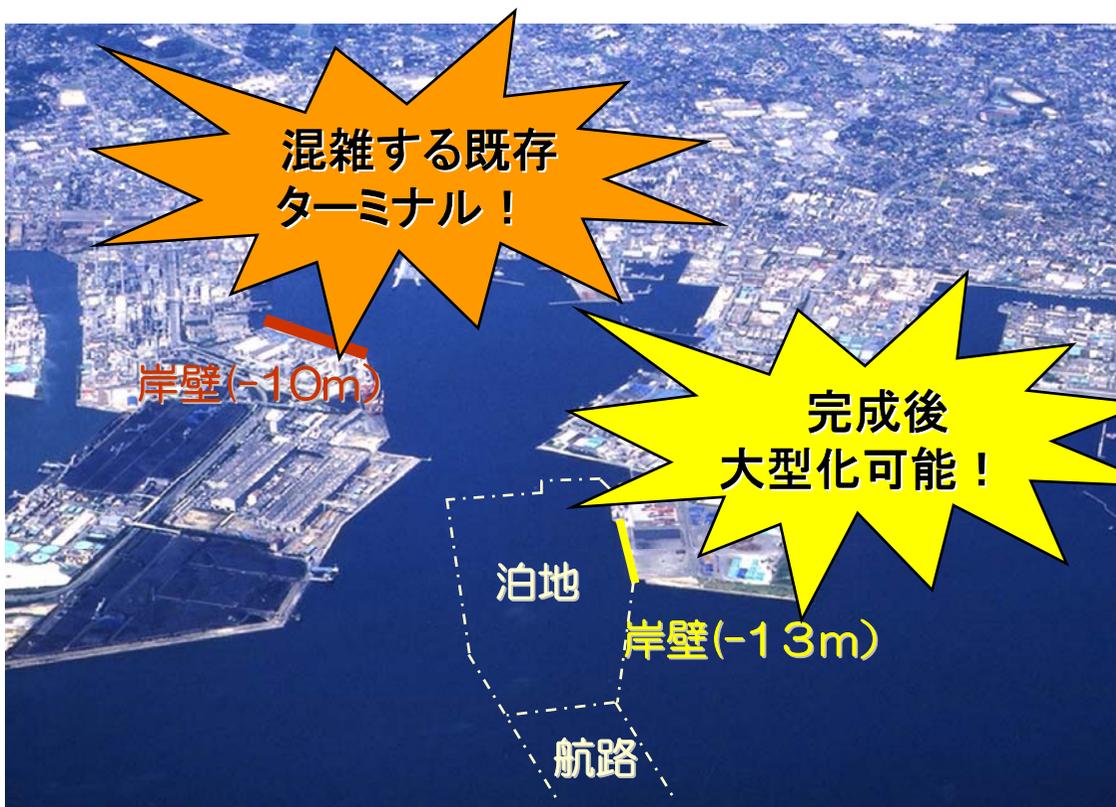


資料：山口県  
港湾統計(年報)

## ●輸出品目（原料）の転換

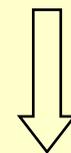
既存施設の混雑解消

→大水深施設である本ターミナル施設へ転換することにより、輸送効率化を実現



### ■ラクタム生産プロセス

シクロヘキサン



副生

(肥料の原料)

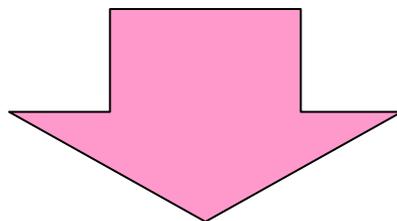
硫安

ラクタム

(ナイロンの原料)

## 5.事業の目的

外貿バルク貨物を輸送する船舶の大型化傾向が急速に進展してきたことに対応するため、暫定水深を解消し、大型船舶入港による物流コスト削減や安全かつ安定的な航路体系の確保を図る必要



『本港地区航路・泊地』の増深 (-9m→ -13m)

# 6.事業の概要

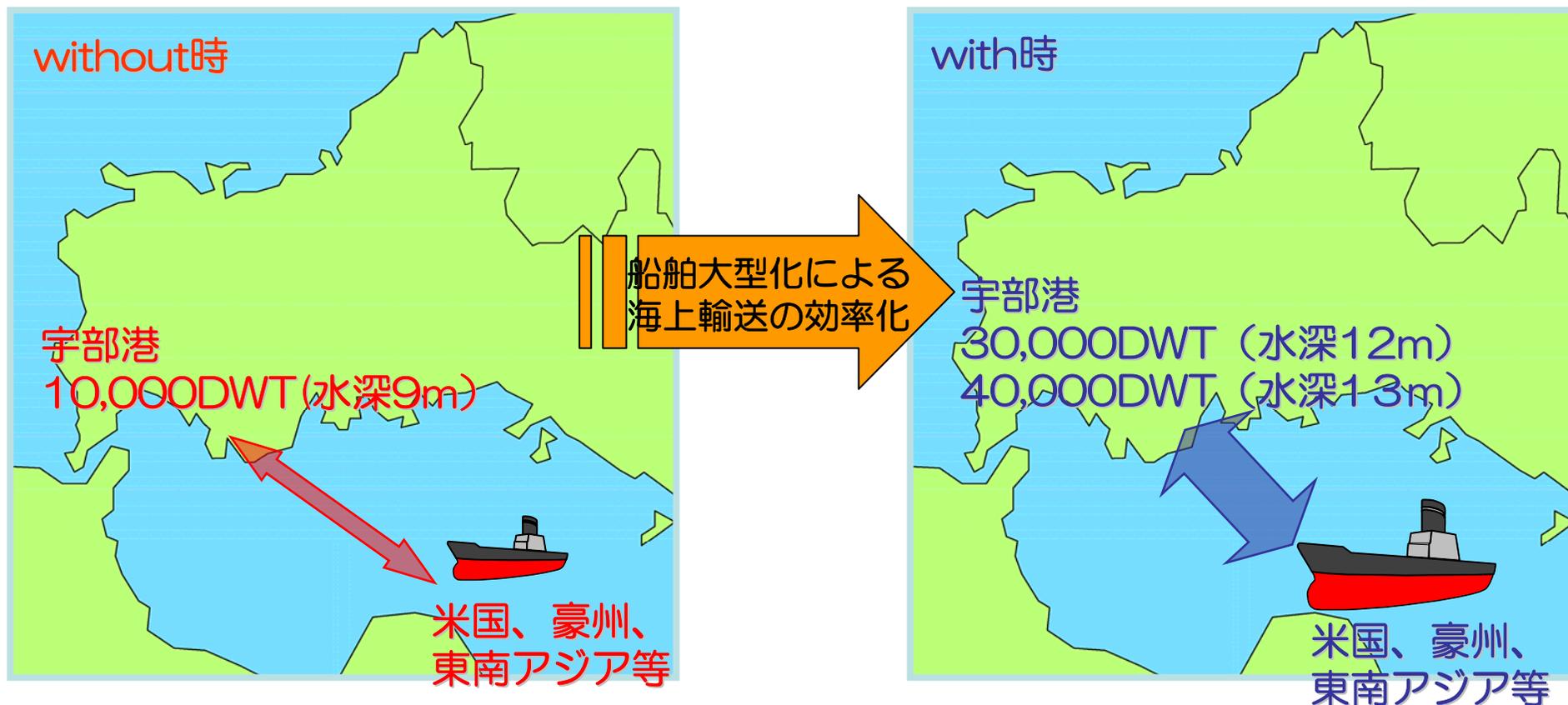
## ●事業の構成施設と進捗状況



# 7.事業の効果

## ● 大型船舶による輸送効率化（海上輸送費用削減便益）

本港地区航路、泊地（-13m）等の整備により、大型船舶の入港が可能となり、年間18.7億円の海上輸送費用が削減される



## 8. その他の効果

### ●排ガス削減効果

貨物の海上輸送の効率化によるCO<sub>2</sub>発生量の削減

### ●地域産業の安定・発展

背後圏立地企業の物流効率化・国際競争力の向上

### ●安全かつ安定的な航路体系の確保

航路の増深・拡幅による港内の船舶航行の安全確保

# 9.費用対効果

## 費用対効果分析結果

	事業全体の投資効率	残事業の投資効率
総費用（C現在価値換算後）	198億円	114億円
総便益（B現在価値換算後）	336億円	144億円
純現在価値（B-C）	138億円	30億円
費用便益比（B/C）	1.7	1.3

## 感度分析結果

分析項目	事業全体の投資効率		残事業の投資効率	
	10%	-10%	10%	-10%
需要	1.9	1.5	1.4	1.1
建設費	1.6	1.9	1.2	1.4
建設期間	1.7	1.7	1.2	1.3

# 10. 今後の対応方針

## 事業継続

本事業は、十分な事業の投資効果確認されたため、本事業を継続することとしたい

## 継続効果

本事業の継続により、海上輸送コストの削減が図れ、地域経済の活性化が図れる